

子ども達のより良い学びのために

「長浜の未来を拓く教育検討委員会」では、市内の県立学校のあり方について話し合い、滋賀県と県教育委員会への提言を行うとともに、これからの教育・人材育成のあり方について検討を進めています。

7月11日に開催した第8回会議の結果についてお知らせします。

○第一次提言およびその後の経過について報告しました

6月12日の第一次提言について報告を行うとともに、提言後の県議会6月定例会における県知事および県教育長の高校再編に関する答弁内容について報告しました。

○県教育委員会から今後の県立高校再編に関する考え方について説明を受けました

《説明の要旨》

- ①「希望する進路の実現」、「進路希望に応じた学びの提供」、「英語や理数教育の充実」、「地域活性化」、「地域事情への配慮」などの視点を大切にしている
- ②湖北の高校再編が全県的なモデルとなるよう、必要な予算は確保し、県教育委員会の総力を挙げて全力で取り組む
- ③9月中旬までに再編計画（案）を示し、十分な説明と意見聴取を行いながら、できるだけ早い時期に再編計画を策定したい
- ④夏休みまでに市内の全中学2年生とその保護者を対象としたアンケート調査を実施したい

○第二次提言に向けた取組みについて確認しました

第二次提言に向け、より具体的な検討を次回委員会から行うことを確認しました。

※第一次提言書やこれまでの委員会資料、議事録は市ホームページに掲載していますのでご覧ください。また、高校再編や人材育成などに関するご意見は、メールまたは書面にてお寄せください。いただいたご意見は、検討委員会に報告します。

問 企画政策課 (☎65-6505、Eメールkikaku@city.nagahama.lg.jp)



問 市民課
(☎65-6511)

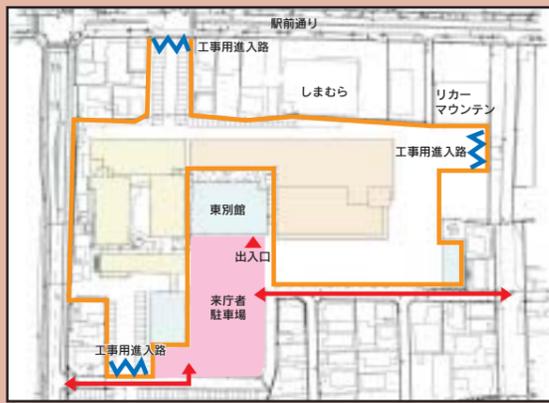
ご利用ください コンビニ交付

住民票の写しと印鑑登録証明書が、セブンイレブンで取得できるようになりました。全国の店舗で、年末年始を除く毎日6時30分～23時まで利用でき、大変便利です。また、交付手数料は市の窓口よりも100円安い1通200円です。

利用には市の住民基本台帳カードが必要です。住民基本台帳カードの申請は市民課または各支所福祉生活課へお越しください。(手数料500円)

なお、本館に設置していた証明書自動交付機は廃止となりました。

問 庁舎整備室 (☎65-6907)



【期間】
8月中旬～10月下旬

市役所東別館への進入路が変わります

新庁舎建設工事の進捗により、東別館への進入路および来庁者駐車場が次のとおり変更となります。

来庁者の皆さんにはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

ほっとにゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報室(☎65-6504)まで事前にお知らせください。

大切な琵琶湖をみんなで美しく

琵琶湖の環境について考える「びわ湖の日」に県下一斉の清掃活動が行われ、市では湖岸や余呉湖一帯、西野水道周辺に合わせて1600人が集まりました。当日は雨が降るあいにくの天気となりましたが、参加者たちは色とりどりのカッパに身を包み、職場や自治会、サークルの仲間とともにごみ拾いに精を出していました。



7/1 (日)



明るい社会を築こう

犯罪や非行の防止、罪を犯した人たちの更生について理解を深めようと呼びかける「社会を明るくする運動」。7月はその強調月間であり、市内各地で街頭啓発が行われました。木之本では伊香高校のボランティアサークル「サウンド会」の皆さんが、保護司会や更生保護女性会のメンバーとともにうちわなどを配って啓発しました。

7/4 (水)



ニュースポーツチャレンジ2012

従来の競技にひと工夫加えた「ニュースポーツ」に挑戦する大会が虎姫運動広場体育館で開催されました。4人1組でチームを作り、8種目の合計得点で順位を競います。特に今年から加わった「投in矢のごとし」・「ネットパスラリー」には、どのチームも苦戦していましたがみんな力を合わせて競技に取り組んでいました。

7/1 (日)



ドキドキ異文化交流

「富田人形サマープログラム」で人形遣いや三味線、浄瑠璃を学んでいる留学生たちがびわ北小を訪れ、練習成果の発表と交流会を行いました。児童たちは、はじめは少し照れた様子でしたが、留学生たちの明るい笑顔に助けられたのが、すぐに馴染み、授業で習った英語を駆使しながら、留学生とのコミュニケーションを楽しんでいました。

7/9 (月)



身近な自然僕たちが守る

西浅井町山門の里山「山門水源の森」で西浅井中の3年生が里山保全学習を行いました。これは総合的な学習の時間に校外に出て活動することで、ふるさとへの愛を深めようといわれているもので、生徒たちは、落ち枝をひろったり、雑草を刈り取ったりしながら、地元が誇る「山門水源の森」の素晴らしさを改めて実感しているようでした。

7/5 (木)